

2019年度報告書

- ・事業報告及び附属明細書
- ・貸借対照表
- ・損益計算書(正味財産増減計算書)
- ・損益計算書(正味財産増減計算書)内訳表
- ・財務諸表に対する注記
- ・貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書
- ・予算対比損益計算書(正味財産増減計算書)
(参考資料)
- ・財産目録(参考資料)
- ・監査報告

一般財団法人 住友生命福祉文化財団

I 予防医学振興事業

1. 住友生命総合健診システム(人間ドック)

健康寿命延伸への意識が高まる中、予防医学の観点から、受診者の生活習慣病の早期発見及び健康管理に注力しました。健診前の保健師、看護師による症状や病歴などの面談、医師による全受診者への健診結果の説明、受診者体験価値向上へ新たな取組を実施いたしました。

新型コロナウイルス感染症拡大により、2月以降、受診者数の減少等の影響が生じました。

- (1) 総受診者数22,987名(前年比▲196名)
- (2) 総合健診受診者数21,434名(前年比▲517名)
- (3) 総合健診初回受診者3,060名(前年比▲157名)
- (4) 健診受診料収入1,057百万円(税抜)(前年比▲13百万円)となりました。
- (5) 特定健診・特定保健指導受診者9,017名(前年比+554名)となりました。

【住友生命総合健診システムの受診状況】

	総合健診			特定健診・特定保健指導	
	受診者	初回受診者	初回割合	受診者	保険指導(当日)
男性	11,504 (前年比 -354)	1,494	13.0%	5,207	92
女性	9,930 (前年比 -163)	1,566	15.8%	3,810	23
合計	21,434 (前年比 -517)	3,060	14.3%	9,017	115

(6) 住友生命総合健診システムでは、高度な健診内容を安全快適に提供し、受診者体験価値を高めるため、計画的に設備・施設の更新を行い、健診クオリティ向上に継続して取り組みました。

a. 新検査、新機器導入

- ・48種類のアレルギーを確認できる血液検査及び新たな腫瘍マーカー検査を導入しました。
- ・2種類のレーザー光強度を切り替えることにより、従来の白色光では観察不能であった細かい粘膜表面が観察可能である最新鋭の胃カメラ内視鏡を導入しました。

b. 胃カメラ検査枠の増加

ご要望の多い胃カメラ検査について、平日午後及び土曜日の検査枠を増加しました。

c. 健診予約登録のシステム化

特定の大口団体の健診予約申込をネット化し、健診システムへの予約情報の一括登録の仕組みを構築することで、入力者側の負担軽減と受入側の事務効率化を図りました。

d. 健診待ち時間対策の実施

雑誌等が読めるアプリケーションをインストールしたタブレット端末を一部で導入しました。

(7)「聴力障がい者無料健診」「介護する人、ひとり親家庭世帯者への受診優遇」を通じて、自身の健康管理が疎かになりがちな方々への受診機会の提供に取り組みました。

(8)運営を通じて得られる知見については、従来から学会等での発表を積極的に行っており、以下のとおりの実績となりました。学会発表のほか、多くの研修会、勉強会等にも積極的に参加し、最新医学情報の習得、健診技術の向上のため、職員の研鑽に注力しました。

第60回日本人間ドック学会学術大会(発表)	7月26日	岡山コンベンションセンター
包括的な医療面接システムの開発・使用経験について 【発表者】堀本葉子 【共同演者】橋本幸子、村上洋子、寺田博美、岡田優子、藤間美帆、長尾顕一、久保満明		
アークレイオーションアカデミー2019 大阪(講師)	9月14日	梅田阪急ビル
AUTION EYE AI-4510 の運用方法・ロジックについて 【講師】岡田優子		
日本乳癌検診学会学術総会(発表)	11月9日	福井商工会議所
検診で発見された乳癌についての検討～術後病理結果を踏まえて～ 【発表者】岡田優子 【共同演者】坂根深幸、田中和美、上田裕美子、川崎幸代、山田美幸、中山由香、田内周子 寺田博美、長尾顕一、堀本葉子		
大阪物療大学 超音波実技実習(講師)	11月16日、11月30日、 12月18日、1月18日	大阪物療大学
腹部超音波実技実習講義 【講師】岡田優子		

2. 地域医療貢献奨励賞

- ・へき地等で長期にわたり地域医療の確保と向上、住民の健康福祉の増進に貢献されている医師を顕彰する「地域医療貢献奨励賞」は13年目を迎えました。
- ・2019年度も例年同様、自治医科大学の後援を得て、全国の都道府県から推薦のあった医師の中から次の6名を選出し、1月18日に表彰式を行いました(副賞50万円)。
- ・新規受賞県3県(埼玉、愛知、滋賀)を含め、これまでの受賞者は43都道府県のべ80名となりましたが、受賞者が地元新聞で紹介される等、地域医療への社会的関心は大変高く、引き続き幅広く本事業の周知を図れるよう取り組んでまいります。

遠藤 秀彦	岩手県岩手郡葛巻町 国民健康保険葛巻病院・院長
昭和53年自治医科大学卒。岩手県内でも医師不足が深刻な沿岸地域において地域医療の確保に長く尽力し、平成14年度からは、4つの県立病院の院長として16年にわたり勤務し、病院機能の充実、地域・救急医療の確保、患者サービスの向上に努め、地域住民に信頼される病院づくりを進めてきた。特に、東日本大震災の発生時に県立釜石病院長として診療機能の維持のため陣頭指揮し、要請のあった救急患者全員を受け入れ、釜石保健医療圏における急性期病院・災害拠点病院としての役割を果たし、その後被災の経験から課題を見つけて同医療圏の医療提供体制を再構築することを通じて震災からの復興に尽力したこと、「自治体立優良病院表彰」を3度も受賞するなど県立病院長として優れた経営手腕を発揮し、岩手県の公立病院のモデルづくりに貢献したことは特筆すべき業績である。平成30年度からは、生まれ故郷である葛巻町の国民健康保険葛巻病院長として地域住民の生命と健康を守るため昼夜を分かたず尽力し、その誠実な人柄と慈愛に満ちた診察姿勢に多くの町民から感謝と信頼の念を寄せられており、地域医療への貢献は極めて大きい。	
勅使河原 正敏	埼玉県秩父市 秩父市立病院・院長
昭和56年自治医科大学卒。昭和58年に秩父市立病院の内科医として勤務を開始し、同院を中心に一貫して地域医療に従事。平成元年には同院内科部長に就任、内科医として地域医療を支える傍ら、平成7年から秩父市が開設する浦山出張診療所長を兼ね、自ら代診や巡回診療を行い、時には早朝から深夜まで診療にあたるなど、地域医療に貢献した。平成20年からは秩父市立病院長として市の保健、医療、福祉の中心的存在として、市役所等の産業医、特別養護老人ホームの嘱託医、市の健康診査医等として地域住民の健康維持・増進に深く関わるほか、「ちちぶ医療協議会」(1市4町)の教育プログラム作成や救急医療、予防医療、リハビリテーションに関する事業を推進、近隣の公的医療機関に勤務する医師の派遣に対する援助を行う等により、近隣市町村からの信頼も厚い。また、地域医療機関の連携による総合診療専門医養成プログラムの作成や研修実施に携わり、若手医師の育成・指導にも熱心に取り組んでいる。埼玉県の中でも最も医師が不足する秩父地域の中核病院である同院に30年以上勤務、近隣の診療所や介護施設も含んだ医療体制の構築を行政とともに達成し、地域医療の確保に長年にわたり貢献した功績は極めて大きい。	

萩野 正樹	福井県南条郡南越前町 南越前町国民健康保険今庄診療所・所長
昭和62年福井医科大学卒。過疎・豪雪地域であり、民間医療機関の進出が期待できない中、国民健康保険診療施設として住民の健康を見守ってきた南越前町今庄診療所に平成12年に着任。医師確保が著しく困難な中、所長として地域医療を守るため、外来診療、訪問診療、当直の他に併設の今庄老人保健施設も管理し、昼夜を問わず診療に従事した。電子内視鏡システム、ヘリカルCTスキャナ等の先端機器を導入・更新、有効活用することにより、生活習慣病をはじめとする疾病の早期発見・治療にも努めたほか、住民の在宅生活を支えたいという熱意から『24時間診療』を掲げ、患者並びに住民の立場に立ち、寄り添い、献身的、精力的に外来診療、入院診療、訪問診療を行っており、その温厚で誠実な人柄から地域住民から慕われ、信頼を得ている。また、小・中学校の校医や予防接種・特定健診・がん検診などの公衆衛生活動に尽力するほか、町の各種協議会・委員会等にも積極的に参加、地域の社会福祉協議会、居宅介護サービス事業所、特別養護老人ホームやそこで働く多職種とも協働・連携するなど、地域包括ケアシステムの構築に中心的に関わっている。地域医療に対する貢献はもとより、町全体の医療、保健、福祉、介護等全般の根幹を支えた功績は極めて大きい。	
丹羽 治男	愛知県北設楽郡東栄町 東栄医療センター・センター長
平成4年自治医科大学卒。臨床研修修了後の赴任先として、愛知県東三河山間部に位置する、北設楽郡東栄町のへき地医療拠点病院である国民健康保険東栄病院に着任。以後、同院で23年余診療に従事し、地域医療、へき地医療に大きく貢献した。同院は、広大な面積を有する北設楽郡唯一の病院として、住民に対する通院、入院および救急医療を行ってきたが、過疎化・高齢化の進展による患者数減少、収入減少により医療人材の確保が困難になる中、自らが中心となって各職種を取りまとめ、必要な医療が提供されるよう努めてきた。患者の立場に立って、懇切丁寧な診療を行うその姿勢は、住民から大きな信頼を得ている。また、地域包括ケア充実のため、訪問診療、往診、巡回診療、住民健診を始めとした健診・保健業務を精力的に実施するほか、若手医師の研修など地域医療研修の協力病院として「奥三河地域研修プログラム」を実施するなど医師の育成にも尽力、隣接している地域のへき地診療所に対して医師派遣を積極的に行うなど、地域医療、へき地医療への貢献は極めて大きい。	
中島 恭二	滋賀県甲賀市 甲賀市立信楽中央病院・院長
昭和59年自治医科大学卒。平成5年に信楽町国民健康保険中央病院（現甲賀市立信楽中央病院）に着任後、同院での診療業務に加え、振興山村指定地域や無医地区に設けられた3か所の出張診療所での診療業務にも従事してきた。平成20年には同院院長に就任、現在でも出張診療所が開設されていない地域への訪問診療を週2回行うなど、27年間にわたり農山村地域の医療確保・医療充実に尽力し、地域住民の健康づくりや住民福祉の向上に貢献してきた。また、将来の地域医療を担う医学生の実習を受け入れ、同院が有するプライマリケアや地域包括ケア機能についての重要性を説くとともに、在宅医療や看取り教育、急性期における市内公立病院等との病・病連携について指導するなど、後進の育成・指導にも熱心に取り組んでいる。各種学会での研究発表なども継続して行い、自己研鑽に励む必要性を後輩医師に伝えるなど、病院内外の医療関係者からの信頼も厚い。滋賀県信楽地域で多年にわたり医療確保に尽力、住民の健康づくりに貢献した功績は極めて大きい。	

藤本 特三	和歌山県田辺市 紀南病院・内科嘱託
昭和55年自治医科大学卒。へき地診療所や地域の病院で勤務した後、平成元年に社会保険紀南総合病院(現紀南病院)に着任。山間部が大半を占める田辺保健医療圏において中核的な役割を担う同院において、30年の永きにわたり、内科の中心医師として活躍、内分泌、糖尿病の専門医として、糖尿病教室の開催や市民講演会による啓発にも尽力してきた。平成23年に副院長就任後も月4回程度、へき地診療所での診療を行いながら、臨床研修医をはじめとする若手医師の指導医として教育指導に携わり、将来、地域医療を担う医師の育成にも尽力してきたほか、平成23年の台風12号による紀伊半島大水害では、自ら救護班の中心として被災住民の診療や健康管理等にあたり、被災地の医療支援に献身的に取り組んだ。巡回健診や小・中学校の学校医も引き受け、地域住民の疾病の早期発見、健康の保持増進に取り組むなど、年々過疎化が進み高齢者の割合が高くなっている同地域において、保健医療のリーダーとして活躍するその姿に住民からの信頼は厚く、地域医療への貢献は極めて大きい。	

Ⅱ 福祉事業〔実施事業〕

1. スミセイ ウエルネス セミナー

- ・2019年度も健康増進(介護予防)をテーマとして、著名人による講演にヨガやランニング、サッカー教室等のスポーツイベントを加えた多彩な内容を盛り込んだプログラムを提供、約8千名の方に参加いただきました。
- ・地域的には特に大都市部展開・未開催都市での開催に注力、これまで未開催であった東京、福岡、新潟、山口で新規に実施するなど全国36都市で開催しました。なお、広島、名古屋、千葉でも開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ中止としました。

2. 「ケアする人のケア」セミナー

一般財団法人たんぽぽの家との共催により、「共助のあるまちづくり」をテーマに、介護する側からの視点で問題提起を行うセミナーを2月29日に高知市で開催すべく準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ中止としました。

3. 遠距離介護セミナー

NPO法人パオッコとの共催により、「施設を拒否する親と向き合うコツ」をテーマに、基調講演とシンポジウムの2部構成で11月10日に東京で実施、94名の方にご参加いただきました。

4. 子どものための児童館とNPOの協働事業(NPOどんどこプロジェクト)

- ・2019年度もNPO法人日本NPOセンターが主催する「子どものための児童館とNPOの協働事業(NPOどんどこプロジェクト)」に協賛し、活動支援を行いました。
- ・助成事業を4月からはじめられるよう、プログラム募集時期を例年の4月から1月に繰り上げた結果、応募数が昨年度の23プログラムから33プログラムに増加、うち15都府県22プログラムに助成を行いました。なお、2019年度は新たに岐阜県でプログラムを実施した結果、これまでに本事業を実施した都道府県は30となりました。

5. 子どもエコ俳句大賞

- ・2019年度は、JR西日本あんしん社会財団にも特別共催いただき、NPO法人シニア自然大学校との共催により、自然環境学習につなげる「第14回子どもエコ俳句大賞」を近畿2府4県の小学生を対象に以下のとおり実施しました。

【応募句数】 45, 255句

【入選句数】 特選3、準特選3、優秀賞40、優良賞60の合計106句

【表彰式】 2020年1月26日、(於)大阪市此花区、受賞者・家族など約360名が出席

- ・特選受賞者が読売新聞の各地域版(大阪、京都、神戸)や神戸新聞で紹介されたこと、JR西日本各駅でもチラシやポスターで募集告知を行ったことにより、例年以上に幅広く本事業の周知を図ることができました。

・特選、準特選は次のとおりです。

特選 (坪内稔典賞)	低学年	おとうとは せみのぬけがら ぼうにさし 桂正 颯 神戸市北区 長尾小学校 1 年
	中学年	あずきまき 二つぶずつを おいていく 川見 龍希 南丹市 八木東小学校 3 年
	高学年	お盆にね じいじの背をね こえたんだ 山本 悠衣 八尾市 安中小学校 6 年
準特選	低学年	よるはやく クワガタのため でんきけす 池田 晴瑛 たつの市 播磨高原東小学校 2 年
	中学年	瓢箪の 巻きひげ伸びた ぐんぐんと 長尾 知樹 神戸市西区 太山寺小学校 4 年
	高学年	シャボン玉 いまの自分が うつつてる 中山 未羽 藤井寺市 四天王寺小学校 5 年

Ⅲ 音楽文化振興事業〔実施事業(式典等の貸館を除く)〕

1. 主催公演は25公演、入場者数13,614名。共催公演、貸館も含む総公演数は188公演となり、年間の入場者総数は90,043名となりました。2020年1月からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて貸館公演の中止・延期が相次ぎ、3月は全ての主催公演も開催を見送ったことから公演数は計画を下回りました。また、平均入場者数は、新型コロナウイルス、10月の台風19号の影響もあり、主催公演は545名、全体527名とそれぞれ前年度(603名、543名)を下回りました。

	2019年度 ()は2018年度		オープン以来	
	公演数	入場者数	公演数	入場者数
主催公演	22 (22)	12,485 (12,727)	1,123	662,276
主催公演(人材養成事業)	3 (4)	1,129 (159)		
共催公演	11 (10)	6,319 (5,364)		
貸館(一般公演)	135 (97)	70,110 (51,422)	5,752	3,157,451
貸館(レコーディング、式典等)	17 (9)			
合計	188(142)	90,043 (69,672)	6,875	3,819,727

(注)貸館(一般公演)には受託公演を含む。中止公演は公演数に含めていない。

オープン以来累計には休館中等の社外会場実施分は含めていない。

2. 前年度から3年間にわたってルネサンスからバロックに至る時代の音楽を紹介する「古楽最前線2018ー2020 躍動するバロック」シリーズは4公演を予定しておりましたが、3月の公演は中止となりました。10月に「メサイア」と「ピエール・アンタイ」の公演を開催。「メサイア」についてはほぼ完売となっておりますが、台風19号の影響によりご来場いただけなかった186名のお客様に払い戻しの対応をさせていただきました。12月に開催したオペラ「ピグマリオン」については、朝日、読売、日経など新聞各紙に批評が掲載されるなど関心を集めました。特に日経夕刊全国版でのクラシック音楽「今年の収穫」に選ばれるなど、高い評価をいただきました。
3. ホールのレジデント・オーケストラであるいずみシンフォニエッタ大阪は7月と2月に定期演奏会を開催しました。また、1月開催の「Music Supplement(村治佳織)」は完売となるなど、バラエティに富むラインアップで多様なクラシック音楽ファンのニーズに応えました。
「ランチタイム・コンサート」は引き続き好評を博しています。
また、若年層ファンの育成・獲得に向けた取組であるユースシートも継続しております。
Osaka Shion Wind Orchestraと提携した小学校(幼稚園保育所)合同鑑賞会では大阪市の小学生等4,177名がホールを訪れました。
4. 初めての平日午後の企画である「午後の特等席」を4月、11月の2公演を開催しました。特に11月はホテルニューオータニ大阪と提携したランチセットプランが好評を得ると共に高齢者施設への券売が100枚を超え、手応えが得られました。
5. 人材養成事業として、8月30日、31日に「オルガンの未来へ～次の世代を育成するために～」と銘打ち、日本オルガニスト協会と共催で「アルフィート・ガスト オルガン・マスタークラス」、「いずみ子どもカレッジ」(招待公演)、「関西出身若手オルガニストによるガラ・コンサート」を開催しました。「いずみ子どもカレッジ」ではお子様と保護者の方々481名にご来場いただきました。

6. 普及事業として、9月には第17回目の「いずみホール夢コンサート」(招待公演)を開催し、障がいのある方とサポートされる方々616名にご来場いただきました。11月には1コイン(500円)で楽しめる「西村朗の音楽講座X」を開催し615名に来場いただきました。
7. 貸館公演では、特に6月29日にはG20大阪サミットに合わせて「ロシアにおける日本年・日本におけるロシア年」の閉会式が開催され(主催;外務省)、安倍総理大臣とプーチン大統領がご来館されました。
8. 公的助成としては、文化庁(日本芸術文化振興会)、大阪市の他、大阪府より初めての助成を得ることができました。
民間助成としては、花王・芸術科学財団、野村財団、三菱UFJ信託芸術文化財団より助成が得られた他、前年度に実施したオペラ「ポッペアの戴冠」が三菱UFJ信託音楽賞・奨励賞を得て、賞金をいただきました。
9. 本年4月1日にホール名が「住友生命いずみホール」に改称されることが、10月18日に住友生命と財団連名で発表されました。開館30周年、財団設立60周年を迎える年にホールの新しい歴史を作るきっかけとして、更に多くの皆さまに親しまれるよう取り組んでまいります。

全主催公演は次の内容です(公演日、標題、演奏者、主な演奏曲名、入場者数を記載)。

【古楽最前線—躍動するバロック 2019 脈打つ人の心—中後期バロックまで(全4公演)】

10/12 (金)	Vol.1《メサイア》 出演/ウィリアム・クリスティ(指揮、音楽監督)、レザール・フロリサン エマニュエレ・デ・ネグリ、キャスリーン・ワトソン(ソプラノ) ティム・ミード(アルト=カウンターテナー) ジェームズ・ウェイ(テノール)、パドライク・ローワン(バス) 曲目/ヘンデル:オラトリオ《メサイア》 HWV56	514
10/24 (木)	Vol.2 ピエール・アンタイ チェンバロ・リサイタル 出演/ピエール・アンタイ(チェンバロ) 曲目/ラモー:《クラヴサン小曲集》より アルマンド、クーラント、内気、 三つの手、サラバンド、懐中時計、ジグとロンド スカルラッティ:《5つのソナタ》 ヘンデル:“ボートンハウスの自筆譜”より 組曲 ニ短調 ほか	357
12/14 (土)	Vol.3 オペラ・バレの歴史&ラモー:《ピグマリオン》 出演/寺神戸亮(バロックヴァイオリン、公演プロデューサー)、 岩田達宗(演出)、小尻健太(振付)、松本更紗(バロックダンス) 酒井はな、中川 賢(モダンダンス) ピグマリオン:櫻田 亮(テノール)、セフィーズ:波多野睦美(ソプラノ) 彫像:佐藤裕希恵(ソプラノ)、アムール:鈴木美紀子(ソプラノ) レ・ボレアード(管弦楽)、合唱 曲目/リュリ:《アティス》《町人貴族》《アルミード》より 舞踏音楽 ラモー:オペラ《ピグマリオン》	510

3/11 (水)	Vol.4 ヴィヴァルディ:《四季》 出演／アマンディーヌ・ベイエ (ヴァイオリン)、リ・インコーニティ 曲目／ヴィヴァルディ:歌劇『オリンピアーデ』より シンフォニア ハ長調 RV725 チェロ協奏曲 イ短調 RV421 ヴァイオリンとオルガンのための協奏曲 ト短調 RV517 ヴァイオリン協奏曲集《四季》op.8	公演 中止
-------------	---	----------

【新・音楽の未来への旅シリーズ】

7/6 (土)	いずみシンフォニエッタ大阪 第42回定期演奏会「祈りの靈感」 出演／三ツ橋敬子(指揮)、篠崎和子(ハープ) 曲目／トゥリーナ:「闘牛士の祈り」op.34 ストラヴィンスキー:プルチネルラ組曲 薮田翔一:ハープ協奏曲「祈りの樹」(委嘱新作) ラヴェル/マイケル・ラウンド:クーブランの墓	347
2/8 (土)	いずみシンフォニエッタ大阪 第43回定期演奏会「大地の歌」 出演／飯森範親(指揮)、望月哲也(テノール)、大西宇宙(バリトン) 曲目／中村滋延:《善と悪の果てしなき闘い 第一章》 マーラー(川島素晴編):《大地の歌》	454

【バッハ・オルガン作品全曲演奏会 アンコール企画】

8/29 (木)	Vol.1 出演／アルフィート・ガスト(パイプオルガン) 曲目／J.S.バッハ:《クラヴィーア練習曲集 第3部》より プレリュード 変ホ長調 BWV552/1 キリエ、とこしえの父なる神よ BWV669 キリストよ、世の人のすべての慰め BWV670 キリエ、聖霊なる神よ BWV671 いと高きところでは神にのみ栄光あれ BWV675~677 フーガ BWV552/2 西村 朗:オルガンのための前奏曲「焰の幻影」(1996) R.シューマン:ペダル・ピアノのための6つの練習曲 “カンノン形式の作品”op.56より M.レーガー:B-A-C-Hの名による幻想曲とフーガ op.46	552
2/22 (土)	Vol.2 出演／小糸 恵(パイプオルガン) 曲目／J.S.バッハ:プレリュードとフーガ ハ長調 BWV545 〈いざ来ませ、異邦人の救い主〉BWV659 〈われらが神は堅き砦〉BWV720 〈心よりわれこがれ望む〉BWV727 〈われはいずこにか逃れゆくべき〉BWV646 〈来ませ、創り主なる聖霊の神よ〉BWV667 トリオ ト短調 BWV584 プレリュードとフーガ ト短調 BWV535 〈おお人よ、汝の大いなる罪を嘆け〉BWV622 プレリュード ハ短調 BWV546/1	620

	オブリガート・チェンバロとヴァイオリンのための 6 つのソナタ 第 3 番 BWV1016 より 第 1 楽章 Adagio (小糸恵編) 〈バビロンの流れのほとりに〉BWV653 トッカータとフーガ ニ短調 BWV538「ドリア調」	
--	---	--

【午後の特等席】

4/19 (金)	Vol.1 出演／中嶋彰子 (ソプラノ) 曲目／パイジェッロ:いとしい人が来るとき ヘンデル:オンブラ・マイ・フ シューマン:アラベスク op.18《女の愛と生涯》op.42 ドヴォルザーク:ジプシーの歌 op.55、《ルサルカ》より月に寄せる唄 ほか	405
11/21 (木)	Vol.2 出演／松田理奈 (ヴァイオリン)、清水和音 (ピアノ) 曲目／モーツァルト:ヴァイオリン・ソナタ 第 33 番 ヘ長調 K.377 ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ 第 2 番 イ長調 op.100 ラヴェル:ヴァイオリン・ソナタ 第 1 番 イ短調 M. 12《遺作》 ヴァイオリン・ソナタ 第 2 番 ト長調 M. 77 ツィガーヌ	461

【新・ランチタイム・コンサート (企画・構成、お話:岡田暁生)】

6/10 (月)	Vol.5 出演／小谷口直子 (クラリネット) 曲目／モーツァルト:歌劇《魔笛》より「なんと美しい絵姿」 ウェーバー:歌劇《魔弾の射手》より「静かに、静かに、敬虔なる旋律よ」 ブッチーニ:歌劇《トスカ》より「星は光りぬ」 ほか	697
9/18 (水)	Vol.6 出演／鈴木大介 (ギター) 曲目／スカルラッティ:ソナタ イ長調 K.208, K.209 シュューベルト/メルツ編:セレナーデ (白鳥の歌より) アルベニス:椰子の木陰 (スペインの歌 op.232 より) バリオス:森に夢見る モリコーネ:ニュー・シネマ・パラダイス ドビュッシー:月の光 ジョビン:イパネマの娘 武満 徹:燃える秋 ピアソラ:リベルタンゴ	609
12/18 (水)	Vol.7 出演／フィリップ・ストレンジ (ジャズ・ピアノ) 曲目／ウィンター・ワンダーランド きよこの夜 テイク・ファイブ 枯葉 ほか	730
3/30 (月)	Vol.8 出演／松田昌恵 (ソプラノ)、小坂圭太 (ピアノ) 曲目／滝廉太郎:花 成田為三:かなりや 山田耕筰:この道 ほか	公演 中止

【その他公演】

5/10 (金)	IZUMI JAZZ NIGHT 2019 出演／小曾根真(ピアノ)	696
8/8 (木)	Summer Vacation Concert「ロザンと一緒に音楽で世界旅行 2019」 出演／成田達輝(ヴァイオリン)、上村文乃(チェロ)、萩原麻未(ピアノ) ロザン(司会) 曲目／J.シュトラウスⅡ:美しく青きドナウ J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲 第3番より プレリュード イザイ:田舎の踊り(無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第5番 第2楽章) シベリウス:水滴 グリーク:トロールハウゲンの婚礼の日 サン=サーンス: 白鳥 ポッパー:妖精の踊り ドヴォルザーク: ピアノ三重奏曲 第4番《ドゥムキー》	486
9/6 (金)	小菅 優ピアノ・リサイタル Four Elements Vol.3 風 出演／小菅 優(ピアノ) 曲目／ダカン:クラヴサン曲集 第1巻 第3組曲 から「かつこう」 第1組曲 から「荒れ狂う風」 クーラン:クラヴサン曲集 第3巻 第17組曲 ホ短調「小さな風車」 ラモー:クラヴサン曲集と運指法 第1番(第2組曲)から「鳥のさえずり」 西村 朗:迦陵頻伽(カラヴィンカ) ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第17番 ニ短調 op.31-2「テンペスト」 フローラン・シュミット:薄暮 op.56 から「シルフィード」 ドビュッシー:前奏曲集 第1巻 から「帆」、「野を渡る風」 「夕べの大気に漂う音と香り」 「西風の見たもの」、「沈める寺」 前奏曲集 第2巻 から「霧」 ヤナーチェク:霧の中で	384
10/4 (金)	ハーゲン弦楽四重奏団 出演／ハーゲン弦楽四重奏団 曲目／ハイドン:弦楽四重奏曲 第77番「皇帝」op.76-3 バルトーク:弦楽四重奏曲 第3番 シューベルト:弦楽四重奏曲 第13番「ロザムンデ」D.804, op. 29	538
11/9 (土)	サー・アンドラーシュ・シフ&カペラ・アンドレア・バルカ ベートーヴェン・ピアノ協奏曲全曲演奏会① 出演／サー・アンドラーシュ・シフ(ピアノ)、カペラ・アンドレア・バルカ 曲目／ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 op.19 第3番 ハ短調 op.37 第4番 ト長調 op.58	756
11/10 (日)	サー・アンドラーシュ・シフ&カペラ・アンドレア・バルカ ベートーヴェン・ピアノ協奏曲全曲演奏会② 出演／サー・アンドラーシュ・シフ(ピアノ)、カペラ・アンドレア・バルカ 曲目／ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第1番 ハ長調 op.15 第5番 変ホ長調 op.73《皇帝》	704

1/9 (木)	ニューイヤー・コンサート 2020 出演／ウィーン・リング・アンサンブル 曲目／J.シュトラウスⅡ:オペレッタ「ジプシー男爵」序曲 ヨーゼフ・シュトラウス:ワルツ「うわごと」 J.シュトラウスⅠ:ジプシー・ギャロップ J.シュトラウスⅡ:エジプト行進曲 ツィーラー:ワルツ「ウィーン娘」 ヨーゼフ・シュトラウス:ジョッキー・ポルカ ベートーヴェン・メドレー(生誕 250 年記念) ほか	672
1/31 (金)	Music Supplement Vol.13 出演／村治佳織(ギター)	765
3/26 (木)	シネマヒットパレード 出演／横山奏(指揮)、岡部まり(ナビゲーター) 大阪交響楽団 曲目／男はつらいよ エデンの東 太陽がいっぱい ゴッドファーザー愛のテーマ ほか	公演 延期

【普及事業】

9/10 (火)	いずみホール夢コンサート2019 出演／藤岡幸夫(指揮)、 北野加織(ソプラノ)、チョン・キヒョン(テノール)、都築由美(司会) 関西フィルハーモニー管弦楽団	616
11/27 (水)	西村 朗の音楽講座Ⅹ「バロック讃〜ポリフォニーの至芸」 出演／西村 朗(お話)、高木和弘(ヴァイオリン)、佐藤一紀(ヴァイオリン) 馬淵昌子(ヴィオラ)、丸山泰雄(チェロ)、碓山典子(ピアノ) 曲目／ラヴェル: 古風なメヌエット J.S.バッハ: 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ第1番ト短調 BWV1001 より 第1曲 アダージョ、第2曲 フーガ 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第4番 ニ長調 より ジーグ BWV828-7 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第5番 ト長調 より ジーグ BWV829-7 《音楽の捧げ物》BWV1079 より カノン No.3,6,7 2つのヴァイオリンのための協奏曲ニ短調 BWV1043 より第1楽章 《フーガの技法》BWV1080 より「未完フーガ」 ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第9番 ハ長調 op.59-3 「ラズモフスキー第3番」より 終楽章のフーガ	615

【人材養成事業】

8/30 (金)	オルガンフェスティバル「オルガンの未来へ」 マスタークラス 講師／アルフィート・ガスト(受講生は4名) 内容／基調講演(ガスト／通訳:松居直美) 「ドイツロマン派における演奏実践の考え方の変遷と、今日の演奏解釈について」 マスタークラス(ガスト／通訳:土橋 薫) メンデルスゾーン、シューマン、ブラームス、リストなどドイツロマン派を中心に	119
8/31 (土)	オルガンフェスティバル「オルガンの未来へ」 いずみ子どもカレッジ2019 楽器の王さまパイプオルガン 出演／桑山彩子、長田真実、三上郁代、北村あゆ美、富田一樹 プログラム／J.S.バッハ :小フーガ ト短調 BWV578 ほか	529
8/31 (土)	オルガンフェスティバル「オルガンの未来へ」 関西出身若手オルガニストによるガラ・コンサート 出演／桑山彩子、長田真実、三上郁代、北村あゆ美、富田一樹 曲目／C.フランク:オルガンのための3つのコラール 第1番 ホ長調 M.38 J.S.バッハ : 平均律曲集 第2巻より 前奏曲 二長調 BWV 874 M.レーガー:楽興の時 op.69-4 F.メンデルスゾーン:前奏曲とフーガ op.35-6(編曲:C.ボッサート) N.グリニー:讃歌「めでたし海の星」 C.トゥルヌミール:「復活のいけにえに」によるコラール即興曲 T.エスケシュ:エヴォカシオンⅡ C.ニールセン:コモータリオ op.58 J.S.バッハ:前奏曲 ハ長調 BWV547/1 われ汝を呼ばわる、主イエス・キリストよ BWV639 われいずこに逃れ行かん BWV646 フーガ ハ長調 BWV547/2	476

IV 財団組織運営に関する事項

1. 公益目的支出計画実施報告書等の提出

2013年4月1日の一般財団法人住友生命福祉文化財団移行後6年を経過し、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第3項の規定により、2018年度の公益目的支出計画実施報告書等を6月に内閣府宛提出しました。

2013年4月1日移行時の公益目的財産額	2, 906, 799, 046円
2018年度末日の公益目的収支差額	2, 066, 857, 566円
2018年度末日の公益目的財産残額	839, 941, 480円

2. 評議員会・理事会開催状況

評議員会・理事会の開催実績は以下のとおりです。

【評議員会】

定時 2019年6月21日

2018年度事業報告について(報告事項)

2018年度公益目的支出計画実施報告書について(報告事項)

2019年度事業計画書及び収支予算書について(報告事項)

臨時 2020年3月19日 ※定款第19条に規定する決議の省略による。

理事1名選任の件

【理事会】

第1回 2019年6月3日 ※定款第35条に規定する決議の省略による。

2018年度事業報告及び計算書類等承認の件

2018年度公益目的支出計画実施報告書承認の件

2019年度定時評議員会開催の決定の件

第2回 2019年6月21日

2019年度職務執行状況について(報告事項)

第3回 2020年3月16日

2020年度事業計画書及び収支予算書承認の件

理事候補者1名選出の件

利益相反取引承認の件

臨時評議員会開催の決定の件

2019年度職務執行状況について(報告事項)

2019年度利益相反取引結果について(報告事項)

第4回 2020年3月27日 ※定款第35条に規定する決議の省略による。

常務理事(業務執行理事)選定の件

理事の担当職務承認の件

理事長代行順位承認の件

使用人職務の委嘱承認の件

役員報酬額決定の件

3. 内部統制に関する報告

【内部統制に関する基本方針】(2013年4月1日制定、2015年5月29日改定)

- (1) 理事及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
- (2) 理事の職務執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
- (3) 損失の危険の管理に関する規程
- (4) 理事の職務執行が効率的に行われることを確保するための体制
- (5) 監事とその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人及びその独立性に関する事項及び当該使用人に対する指示の実効性確保に関する事項
- (6) 理事及び使用人が監事に報告するための体制その他の監事への報告に関する体制及び当該報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利益な取扱いを受けないことを確保するための体制
- (7) 監事の職務の執行について生ずる費用の前払又は償還の手続きその他の当該職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項
- (8) その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制

経営に重大な影響を与える事案や受益者等の利益が著しく阻害される事案等は発生していません。各規程に定める理事会及び監事への報告事項は次頁のとおりです。

規程名	報告内容	2019年度状況
法令等遵守規程	コンプライアンスプログラムの遂行状況・達成状況	上期・下期にそれぞれ振り返りを実施。遂行状況・達成状況について問題なし。
	法令等遵守状況	法令等遵守状況について問題なし。
内部通報規程	内部通報制度で受け付けた通報・相談内容及び処理内容	内部通報制度で受け付けた通報・相談なし。
反社会的勢力対策規程	反社会的勢力への対応状況	反社会的勢力が関与する事案はなし。
受益者管理指針	相談・苦情等について	経営に重大な影響を与える、又は受益者の利益が著しく阻害されると判断される事案はなし。
受益者情報管理規程	受益者情報の管理状況	受益者情報の管理状況について問題なし。
外部委託管理規程	各委託元部署から集約した外部委託管理の全社状況その他の重要事項	外部委託先管理において問題となる事項はなし。
リスク管理規程	リスクの状況等	経営に重大な影響を与えると判断される事案はなし。
内部管理法内 検証規程	検証結果	問題となる事項なし。

4. 評議員・役員の状況

2019年度における異動は次のとおりです。(敬称略)

2019年 4月 1日	評議員	新任	山中 齊
2020年 3月29日	理事	辞任	小阪 博司
2020年 3月30日	理事	新任	高城 淳一

評 議 員 名 簿（敬称略）

（2020年3月31日現在）

評議員	小栗 まち絵	相愛大学大学院音楽研究科 教授 東京音楽大学 特任教授・ヴァイオリニスト
評議員	川木 一正	曾根崎法律事務所 弁護士
評議員	楠岡 英雄	独立行政法人 国立病院機構 理事長
評議員	斉藤 弥生	大阪大学大学院人間科学研究科 教授
評議員	佐藤 義雄	住友生命保険相互会社 取締役会長代表執行役
評議員	中嶋 直躬	コクヨ株式会社 社友・元専務取締役
評議員	山中 斉	住友生命保険相互会社 ブランドコミュニケーション部長

役 員 名 簿（敬称略）

（2020年3月31日現在）

理事長	野呂 幸雄	住友生命保険相互会社 常任顧問・元取締役代表執行役専務
常務理事	殿納 義雄	一般財団法人住友生命福祉文化財団 いずみホール事業局長
常務理事	高城 淳一	一般財団法人住友生命福祉文化財団 本部事務局長
理事	宇高 不可思	一般財団法人住友病院 特別顧問
理事	塩野 元三	塩野義製薬株式会社 代表取締役会長
理事	中村 孝義	学校法人大阪音楽大学 理事長
理事	林 紀夫	独立行政法人 労働者健康安全機構 関西労災病院 病院長
理事	堀本 葉子	一般財団法人住友生命福祉文化財団 住友生命総合健診システム所長
理事	三野 哲治	住友ゴム工業株式会社 相談役
監事	上野 博明	上野博明事務所 公認会計士・税理士
監事	田中 英行	宮崎綜合法律事務所 弁護士

5. その他

附属明細書として、事業報告の内容を補足すべき重要事項はありません。

以上

貸借対照表

2020年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金 預金	994,307,405	1,153,827,362	-159,519,957
未収金	706,639	923,913	-217,274
未収金	155,777,642	182,114,002	-26,336,360
貯蔵品	10,003,734	13,826,068	-3,822,334
立替金	53,288	44,500	8,788
前払費用	7,069,667	5,594,210	1,475,457
未収還付法人税等	473	74	399
	1,167,918,848	1,356,330,129	-188,411,281
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	654,505,387	609,498,799	45,006,588
普通預金	46,039,350	91,039,350	-45,000,000
基本財産合計	700,544,737	700,538,149	6,588
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	190,903,520	173,483,520	17,420,000
設備更新引当資産	0	72,279,656	-72,279,656
特定資産合計	190,903,520	245,763,176	-54,859,656
(3) その他固定資産			
建物附属設備	32,184,966	28,080,786	4,104,180
構築物	1,866,151	1,924,059	-57,908
什器備品	142,851,697	113,740,835	29,110,862
ソフトウェア	40,004,562	42,015,176	-2,010,614
投資有価証券	244,507,463	112,008,718	132,498,745
電話加入権	432,000	432,000	0
敷金	4,652,000	4,652,000	0
長期前払費用	392,889	670,222	-277,333
その他固定資産合計	466,891,728	303,523,796	163,367,932
固定資産合計	1,358,339,985	1,249,825,121	108,514,864
資産合計	2,526,258,833	2,606,155,250	-79,896,417
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	70,822,611	179,846,574	-109,023,963
未払費用	9,493,917	9,705,890	-211,973
預り金	9,621,414	4,426,486	5,194,928
前受金	37,987,700	40,005,044	-2,017,344
賞与引当金	44,317,192	41,038,298	3,278,894
未払法人税等	120,000	120,000	0
未払消費税等	17,201,300	9,196,300	8,005,000
流動負債合計	189,564,134	284,338,592	-94,774,458
2. 固定負債			
退職給付引当金	233,292,502	212,980,009	20,312,493
固定負債合計	233,292,502	212,980,009	20,312,493
負債合計	422,856,636	497,318,601	-74,461,965
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	699,224,491	699,217,903	6,588
指定正味財産合計	699,224,491	699,217,903	6,588
(うち基本財産への充当額)	699,224,491	699,217,903	6,588
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	1,404,177,706	1,409,618,746	-5,441,040
(うち特定資産への充当額)	0	1,320,246	-1,320,246
(うち特定資産への充当額)	0	72,279,656	-72,279,656
正味財産合計	2,103,402,197	2,108,836,649	-5,434,452
負債及び正味財産合計	2,526,258,833	2,606,155,250	-79,896,417

(注)実施事業資産は次のとおりである。

建物附属設備	2,524,699
構築物	1,866,151
什器備品	10,011,371
ソフトウェア	844,001
	15,246,222

正味財産増減計算書

2019年 4月 1日から2020年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	5,748,291	7,101,617	-1,353,326
基本財産受取利息	5,748,291	7,101,617	-1,353,326
事業収益	1,245,154,442	1,207,761,147	37,393,295
診療事業収益	1,058,695,796	1,072,164,984	-13,469,188
健診事業収益	186,458,646	135,596,163	50,862,483
受取補助金等	31,468,915	30,016,520	1,452,395
受取補助金	31,468,915	30,016,520	1,452,395
受取寄付金	385,000,000	385,000,000	0
受取寄付金	385,000,000	385,000,000	0
雑収益	2,473,685	2,244,829	228,856
雑収益	950,475	941,056	9,419
経常収益計	1,523,210	1,303,773	219,437
(2) 経常費用	1,669,845,333	1,632,124,113	37,721,220
事業費	1,657,745,812	1,657,689,345	56,467
役員報酬	10,500,000	9,550,000	950,000
給付金	355,888,636	353,540,545	2,348,091
退職給付	271,322,626	281,338,318	-10,015,692
福利厚生費	29,831,289	28,955,726	875,563
広報費	80,787,250	80,739,366	47,884
通信費	10,132,273	10,131,742	531
旅費	25,740,309	27,434,930	-1,694,621
通運費	20,602,567	20,753,035	-150,468
消耗品費	63,968,082	65,040,380	-1,072,298
消耗品費	3,629,865	3,989,580	-359,715
診療消耗品費	11,952,721	17,665,766	-5,713,045
印刷費	117,745,682	129,767,087	-12,021,405
光熱費	21,504,978	25,356,793	-3,851,815
賃借料	8,746,999	11,356,896	-2,609,897
保険料	15,853,392	16,204,160	-350,768
諸会費	152,082,893	152,152,341	-69,448
税金	1,229,003	1,203,565	25,438
雑費	777,850	938,337	-160,487
会議費	2,001,472	2,589,570	-588,098
租税	22,562,574	20,116,583	2,445,991
支払金	1,274,996	1,435,290	-160,294
委託費	3,000,000	3,000,000	0
雑費	219,833,933	232,583,858	-12,749,925
管理費	9,894,833	11,716,239	-1,821,406
製作費	83,457,144	63,322,724	20,134,420
製作費	113,424,445	86,806,514	26,617,931
役員報酬	16,975,306	17,235,337	-260,031
給付金	3,800,000	2,613,338	1,186,662
退職給付	4,684,677	5,828,310	-1,143,633
福利厚生費	31,204	-37,233	68,437
広報費	2,832,552	2,810,741	21,811
通信費	251,623	167,057	84,566
旅費	20,810	17,968	2,842
通運費	10,510	9,773	737
消耗品費	0	0	0
診療消耗品費	2,753	2,241	512
印刷費	3,382	1,718	1,664
光熱費	0	191,580	-191,580
賃借料	59,143	60,718	-1,575
保険料	591,032	589,263	1,769
諸会費	152,509	137,590	14,919
税金	1,200,000	1,200,000	0
雑費	648,483	702,637	-54,154
会議費	1,559,520	1,708,193	-148,673
租税	144,765	156,579	-11,814
支払金	70,000	70,000	0
委託費	764,906	819,417	-54,511
雑費	147,437	185,447	-38,010
経常費用計	1,674,721,118	1,674,924,682	-203,564
評価損益等調整前当期経常増減額	-4,875,785	-42,800,569	37,924,784
投資有価証券評価損益等	-457,100	0	-457,100
評価損益等計	-457,100	0	-457,100
当期経常増減額	-5,332,885	-42,800,569	37,467,684
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	108,155	4,466,366	-4,358,211
什器備品除却損	108,155	8	108,147
ソフトウェア除却損	0	4,466,358	-4,466,358
経常外費用計	108,155	4,466,366	-4,358,211
当期経常外増減額	-108,155	-4,466,366	4,358,211
当期一般正味財産増減額	-5,441,040	-47,266,935	41,825,895
一般正味財産期首残高	1,409,618,746	1,456,885,681	-47,266,935
一般正味財産期末残高	1,404,177,706	1,409,618,746	-5,441,040
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	5,894,879	6,986,013	-1,091,134
基本財産受取利息	5,894,879	6,986,013	-1,091,134
基本財産評価損	140,000	0	140,000
基本財産評価損	140,000	0	140,000
一般正味財産への振替額	-5,748,291	-7,084,629	1,336,338
当期指定正味財産増減額	6,588	-98,616	105,204
指定正味財産期首残高	699,217,903	699,316,519	-98,616
指定正味財産期末残高	699,224,491	699,217,903	6,588
III 正味財産期末残高	2,103,402,197	2,108,836,649	-5,434,452

正味財産増減計算書内訳表

2019年 4月 1日から2020年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	実施事業等会計			その他会計			法人会計	合 計
	福祉事業	音楽文化振興事業	小 計	予防医学振興事業	式典等貸館事業	小 計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	5,748,291	5,748,291
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	5,748,291	5,748,291
事業収益	0	174,622,381	174,622,381	1,058,695,796	11,836,265	1,070,532,061	0	1,245,154,442
診療事業収益	0	0	0	1,058,695,796	0	1,058,695,796	0	1,058,695,796
いずみ事業収益	0	174,622,381	174,622,381	0	11,836,265	11,836,265	0	186,458,646
受取補助金等	0	31,468,915	31,468,915	0	0	0	0	31,468,915
受取補助金	0	31,468,915	31,468,915	0	0	0	0	31,468,915
受取寄付金	0	0	0	185,500,000	0	185,500,000	199,500,000	385,000,000
受取寄付金	0	0	0	185,500,000	0	185,500,000	199,500,000	385,000,000
雑受取収益	0	1,433,588	1,433,588	47,598	45,186	92,784	947,313	2,473,685
雑受取利息	0	0	0	3,162	0	3,162	947,313	950,475
雑受取	0	1,433,588	1,433,588	44,436	45,186	89,622	0	1,523,210
経常収益計	0	207,524,884	207,524,884	1,244,243,394	11,881,451	1,256,124,845	206,195,604	1,669,845,333
(2) 経常費用								
事業費	137,649,089	404,748,183	542,397,272	1,102,229,545	13,118,995	1,115,348,540	0	1,657,745,812
役員報酬	2,400,000	5,682,000	8,082,000	2,400,000	18,000	2,418,000	0	10,500,000
給料	6,186,199	97,587,219	103,773,418	250,144,241	1,970,977	252,115,218	0	355,888,636
臨時雇賃金	0	17,557,196	17,557,196	252,654,930	1,110,500	253,765,430	0	271,322,626
退職給付費用	62,409	7,264,180	7,326,589	22,348,880	155,820	22,504,700	0	29,831,289
福利厚生費	3,672,335	22,176,340	25,848,675	54,493,453	445,122	54,938,575	0	80,787,250
広告宣伝費	0	9,478,609	9,478,609	360,339	293,325	653,664	0	10,132,273
旅費	919,636	6,249,012	7,168,648	18,338,147	233,514	18,571,661	0	25,740,309
通信運搬費	12,948	5,434,467	5,447,415	15,083,708	71,444	15,155,152	0	20,602,567
減価償却費	0	3,996,308	3,996,308	59,868,664	103,110	59,971,774	0	63,968,082
消耗什器備品費	0	0	0	3,629,865	0	3,629,865	0	3,629,865
消耗品費	1,866	2,582,136	2,584,002	9,273,265	95,454	9,368,719	0	11,952,721
健診消耗品費	0	0	0	117,745,682	0	117,745,682	0	117,745,682
修繕費	0	1,266,045	1,266,045	20,207,450	31,483	20,238,933	0	21,504,978
印刷製本費	0	6,272,065	6,272,065	2,440,811	34,123	2,474,934	0	8,746,999
光熱水料	65,164	3,955,602	4,020,766	11,734,264	98,362	11,832,626	0	15,853,392
賃借料	766,374	7,387,370	8,153,744	143,745,451	183,698	143,929,149	0	152,082,893
保険料	2,024	641,367	643,391	531,052	54,560	585,612	0	1,229,003
諸謝金	0	737,850	737,850	40,000	0	40,000	0	777,850
会議・交際費	96,683	709,869	806,552	1,188,691	6,229	1,194,920	0	2,001,472
租税公課	10,484,108	3,662,277	14,146,385	8,397,891	18,298	8,416,189	0	22,562,574
支払負担金	0	436,055	436,055	828,097	10,844	838,941	0	1,274,996
支払助成金	0	0	0	3,000,000	0	3,000,000	0	3,000,000
委託託付費	112,872,799	9,300,921	122,173,720	97,310,418	349,795	97,660,213	0	219,833,933
雑いずみ木一ル管理費	106,544	3,112,873	3,219,417	6,464,246	211,170	6,675,416	0	9,894,833
公演企画制作費	0	76,935,304	76,935,304	0	6,521,840	6,521,840	0	83,457,144
管 理 費	0	112,323,118	112,323,118	0	1,101,327	1,101,327	0	113,424,445
役員報酬	0	0	0	0	0	0	16,975,306	16,975,306
給料	0	0	0	0	0	0	3,800,000	3,800,000
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	4,684,677	4,684,677
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	31,204	31,204
旅費	0	0	0	0	0	0	2,832,552	2,832,552
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	251,623	251,623
減価償却費	0	0	0	0	0	0	20,810	20,810
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	10,510	10,510
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0	0	2,753	2,753
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	3,382	3,382
光熱水料	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	0	59,143	59,143
保険料	0	0	0	0	0	0	591,032	591,032
諸謝金	0	0	0	0	0	0	152,509	152,509
会議・交際費	0	0	0	0	0	0	1,200,000	1,200,000
租税公課	0	0	0	0	0	0	648,483	648,483
支払負担金	0	0	0	0	0	0	1,559,520	1,559,520
支払助成金	0	0	0	0	0	0	144,765	144,765
委託託付費	0	0	0	0	0	0	70,000	70,000
雑受取	0	0	0	0	0	0	764,906	764,906
雑受取	0	0	0	0	0	0	147,437	147,437
経常費用計	137,649,089	404,748,183	542,397,272	1,102,229,545	13,118,995	1,115,348,540	16,975,306	1,674,721,118
評価損益等調整前当期経常増減額	-137,649,089	-197,223,299	-334,872,388	142,013,849	-1,237,544	140,776,305	189,220,298	-4,875,785
評価損益等計	0	0	0	-457,100	0	-457,100	0	-457,100
当期経常増減額	-137,649,089	-197,223,299	-334,872,388	141,556,749	-1,237,544	140,319,205	189,220,298	-5,332,885
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	0	0	0	108,155	0	108,155	0	108,155
什器備品除却損	0	0	0	108,155	0	108,155	0	108,155
経常外費用計	0	0	0	108,155	0	108,155	0	108,155
当期経常外増減額	0	0	0	-108,155	0	-108,155	0	-108,155
当期一般正味財産増減額	-137,649,089	-197,223,299	-334,872,388	141,448,594	-1,237,544	140,211,050	189,220,298	-5,441,040
一般正味財産期首残高	-861,600,990	-1,011,501,571	-1,873,102,561	1,643,867,921	-3,886,304	1,639,981,617	1,642,739,690	1,409,618,746
一般正味財産期末残高	-999,250,079	-1,208,724,870	-2,207,974,949	1,785,316,515	-5,123,848	1,780,192,667	1,831,959,988	1,404,177,706
II 指定正味財産増減の部								
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	5,894,879	5,894,879
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	5,894,879	5,894,879
基本財産評価損	0	0	0	0	0	0	140,000	140,000
基本財産評価損	0	0	0	0	0	0	140,000	140,000
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	-5,748,291	-5,748,291
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	6,588	6,588
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	699,217,903	699,217,903
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	699,224,491	699,224,491
III 正味財産期末残高	-999,250,079	-1,208,724,870	-2,207,974,949	1,785,316,515	-5,123,848	1,780,192,667	2,531,184,479	2,103,402,197

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・移動平均法による償却原価法(定額法)によっている。

その他有価証券

時価のあるもの・・・期末日の市場価額等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの・・・移動平均法による原価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品・・・個別法による原価法によっている。

(3) 有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法

定額法によっている。(耐用年数及び残存価額は法人税法に規定する方法と同一の基準)

(4) 無形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法

定額法によっている。(耐用年数及び残存価額は法人税法に規定する方法と同一の基準)

(5) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、退職一時金については当事業年度末における自己都合要支給額に相当する金額、退職年金については年金の将来支給予定額を現在価値に割り引いた金額を計上している。

なお、会計基準変更時差異については、15年による按分額を費用処理している。

賞与引当金・・・・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(6) 消費税等の会計処理

税抜方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	609,498,799	100,667,021	55,660,433	654,505,387
普通預金	91,039,350		45,000,000	46,039,350
小 計	700,538,149	100,667,021	100,660,433	700,544,737
特定資産				
退職給付引当資産	173,483,520	17,420,000	0	190,903,520
設備更新引当資産	72,279,656	0	72,279,656	0
小 計	245,763,176	17,420,000	72,279,656	190,903,520
合 計	946,301,325	118,087,021	172,940,089	891,448,257

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	654,505,387	654,505,387	0	0
普通預金	46,039,350	46,039,350	0	0
小 計	700,544,737	700,544,737	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	190,903,520	0	0	190,903,520
小 計	190,903,520	0	0	190,903,520
合 計	891,448,257	700,544,737	0	190,903,520

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	655,948,450	623,763,484	32,184,966
構築物	2,797,498	931,347	1,866,151
什器備品	705,263,533	562,411,836	142,851,697
ソフトウェア	83,635,571	43,631,009	40,004,562
合 計	1,447,645,052	1,230,737,676	216,907,376

5. 偶発債務

事務所及び診療施設に関して、賃貸借契約に基づく賃貸借契約終了時の原状回復義務を有しているが、その見積額は、360,000,000円である。なお、当財団は建物の取壊しまで賃貸借契約を継続する意向であり、その場合には原状回復を行うことなく建物の取壊しが行われると考えられることから、損失の発生の可能性は低いと判断している。

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国 債	599,609,950	613,971,530	14,361,580
合 計	599,609,950	613,971,530	14,361,580

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
寄付金						
基本財産充当寄付金	住友生命保険相互会社	699,217,903	6,588	0	699,224,491	指定正味財産
2019年度寄付金	住友生命保険相互会社	0	385,000,000	385,000,000	0	一般正味財産
助成金						
2019年度文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)	独立行政法人日本芸術文化振興会	0	25,768,915	25,768,915	0	一般正味財産
2019年度芸術活動振興事業助成金	大阪市	0	3,000,000	3,000,000	0	一般正味財産
2019年度芸術文化振興補助金	大阪府	0	1,000,000	1,000,000	0	一般正味財産
新・音楽の未来への旅シリーズ2019助成金	公益財団法人花王芸術・科学財団	0	700,000	700,000	0	一般正味財産
いずみシンフォニエッタ公演助成金	公益財団法人野村財団	0	500,000	500,000	0	一般正味財産
いずみホールオペラ「ポップアの戴冠」助成金	公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団	0	500,000	500,000	0	一般正味財産
合 計		699,217,903	416,475,503	416,468,915	699,224,491	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息振替額 (償却原価法によるものを除く)	5,748,291
合 計	5,748,291

9. 金融商品に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、預金及び債券により資産運用し、デリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

有価証券及び投資有価証券は、債券であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

① 資金運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資金運用規程に基づき行っている。

② 信用リスクの管理

発行体の状況等を定期的に把握し、理事会に報告している。

③ 市場リスクの管理

関連する市場の動向等を把握し、理事会に報告している。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細書

財務諸表に対する注記に記載しており、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細書

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞 与 引 当 金	41,038,298	44,317,192	41,038,298	0	44,317,192
退職給付引当金	212,980,009	29,862,493	9,550,000	0	233,292,502

予算対比正味財産増減計算書(参考資料)

2019年 4月 1日から2020年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用利益	7,022,000	5,748,291	1,273,709
基本財産受取利息	7,022,000	5,748,291	1,273,709
事業収益	1,264,393,000	1,245,154,442	19,238,558
健康事業収益	1,070,000,000	1,058,695,796	11,304,204
受取補助金等	194,393,000	186,458,646	7,934,354
受取補助金	30,700,000	31,468,915	-768,915
受取寄付金	30,700,000	31,468,915	-768,915
受取寄附金	385,000,000	385,000,000	0
雑収益	385,000,000	385,000,000	0
受取利息	1,502,000	2,473,685	-971,685
雑収益	958,000	950,475	7,525
経常収益計	544,000	1,523,210	-979,210
(2) 経常費用	1,688,617,000	1,669,845,333	18,771,667
事業費	1,738,486,000	1,657,745,812	80,740,188
役員報酬	10,500,000	10,500,000	0
臨時雇員料	350,940,000	355,888,636	-4,948,636
退職給付	286,152,000	271,322,626	14,829,374
福利厚生費	27,272,000	29,831,289	-2,559,289
旅費交通費	82,351,000	80,787,250	1,563,750
通信費	10,966,000	10,132,273	833,727
消耗什器備品	31,219,000	25,740,309	5,478,691
消耗什器備品	21,457,000	20,602,567	854,433
消耗什器備品	61,880,000	63,968,082	-2,088,082
消耗什器備品	1,026,000	3,629,865	-2,603,865
消耗什器備品	11,114,000	11,952,721	-838,721
消耗什器備品	140,405,000	117,745,682	22,659,318
消耗什器備品	37,015,000	21,504,978	15,510,022
印刷光賃	12,310,000	8,746,999	3,563,001
賞保諸会費	16,003,000	15,853,392	149,608
租税公課	151,816,000	152,082,893	-266,893
租税公課	1,386,000	1,229,003	156,997
租税公課	760,000	777,850	-17,850
租税公課	1,909,000	2,001,472	-92,472
租税公課	20,624,000	22,562,574	-1,938,574
租税公課	1,786,000	1,274,996	511,004
租税公課	3,000,000	3,000,000	0
租税公課	238,967,000	219,833,933	19,133,067
租税公課	8,577,000	9,894,833	-1,317,833
租税公課	86,480,000	83,457,144	3,022,856
租税公課	122,570,000	113,424,445	9,145,555
租税公課	17,507,000	16,975,306	531,694
租税公課	3,800,000	3,800,000	0
租税公課	4,675,000	4,684,677	-9,677
租税公課	-485,000	31,204	-516,204
租税公課	2,858,000	2,832,552	25,448
租税公課	484,000	251,623	232,377
租税公課	31,000	20,810	10,190
租税公課	22,000	10,510	11,490
租税公課	4,000	0	4,000
租税公課	7,000	2,753	4,247
租税公課	5,000	3,382	1,618
租税公課	510,000	0	510,000
租税公課	52,000	59,143	-7,143
租税公課	505,000	591,032	-86,032
租税公課	1,000	152,509	-151,509
租税公課	1,300,000	1,200,000	100,000
租税公課	836,000	648,483	187,517
租税公課	2,183,000	1,559,520	623,480
租税公課	2,000	144,765	-142,765
租税公課	80,000	70,000	10,000
租税公課	600,000	764,906	-164,906
租税公課	38,000	147,437	-109,437
経常費用計	1,755,993,000	1,674,721,118	81,271,882
評価損益等調整前当期経常増減額	-67,376,000	-4,875,785	-62,500,215
評価損益等計	0	-457,100	457,100
当期経常増減額	-67,376,000	-5,332,885	-62,043,115
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	108,155	-108,155
固定資産除却損	0	108,155	-108,155
経常外費用計	0	108,155	-108,155
当期経常外増減額	0	-108,155	108,155
当期一般正味財産増減額	-67,376,000	-5,441,040	-61,934,960
一般正味財産期首残高	1,360,809,000	1,409,618,746	-48,809,746
一般正味財産期末残高	1,293,433,000	1,404,177,706	-110,744,706
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用利益	7,014,000	5,894,879	1,119,121
基本財産受取利息	7,014,000	5,894,879	1,119,121
一般正味財産への振替額	-7,112,000	-5,748,291	-1,363,709
当期指定正味財産増減額	-98,000	6,588	-104,588
指定正味財産期首残高	699,218,000	699,217,903	97
指定正味財産期末残高	699,120,000	699,224,491	-104,491
III 正味財産期末残高	1,992,553,000	2,103,402,197	-110,849,197

設備投資額

予算額: 133,200,000

決算額: 95,233,267

財産目録（参考資料）

2020年 3月31日現在

（単位：円）

貸借対照表科目		内容・備考	金 額
（流動資産）			
	現金	手元保管（予防医学振興事業）	938,497
		手元保管（音楽文化振興事業）	860,581
		普通預金	77,916
	預金	三井住友銀行（予防医学振興事業）	893,368,908
		みずほ銀行（予防医学振興事業）	311,146,201
		三菱ＵＦＪ銀行（予防医学振興事業）	7,633,876
		三井住友信託銀行（予防医学振興事業）	77,088,330
		三井住友銀行（福祉事業）	13,900,900
		関西みらい銀行（音楽文化振興事業）	169,185,320
		関西みらい銀行（音楽文化振興事業）	167,428,340
		関西みらい銀行（音楽文化振興事業）	3,008,343
		三菱ＵＦＪ銀行（音楽文化振興事業）	856,987
		三井住友銀行（音楽文化振興事業）	601,162
		三井住友銀行（音楽文化振興事業）	992,889
		三井住友銀行（音楽文化振興事業）	15,000,000
		ゆうちょ銀行（音楽文化振興事業）	10,185,442
		三井住友銀行（法人会計）	116,341,118
		定期預金	100,000,000
		三井住友信託銀行（予防医学振興事業）	100,000,000
	未収収益		706,639
	未収金	予防医学振興事業未収金	155,777,642
		音楽文化振興事業未収金	126,163,689
			29,613,953
	貯蔵品	予防医学振興事業貯蔵品	10,003,734
		音楽文化振興事業貯蔵品	9,185,935
			817,799
	立替金		53,288
	前払費用	予防医学振興事業前払費用	7,069,667
		音楽文化振興事業前払費用	1,842,921
			5,226,746
			473
	未収還付法人税等		
流動資産合計			1,167,918,848
（固定資産）			
基本財産	投資有価証券	第３１９回利付国債（法人会計）	700,544,737
		第３１１回利付国債（法人会計）	654,505,387
		第 ６１回利付国債（法人会計）	195,490,100
		第 １６８回大阪府債（法人会計）	259,816,539
			99,338,748
			99,860,000
	普通預金	三菱ＵＦＪ銀行（法人会計）	46,039,350
			46,039,350
			190,903,520
			190,903,520
特定資産	退職給付引当資産	三菱ＵＦＪ銀行（予防医学振興事業）	127,721,520
		関西みらい銀行（音楽文化振興事業）	63,182,000
			466,891,728
			32,184,966
			1,866,151
			142,851,697
			40,004,562
			244,507,463
		第 ３回茨城県債（予防医学進行事業）	99,802,900
		第 １６５回大阪府債（予防医学進行事業）	99,740,000
その他固定資産		第 ６１回利付国債（法人会計）	44,964,563
			432,000
			4,652,000
			392,889
	建物付属設備		
	構築物		
	什器備品		
	ソフトウェア		
	投資有価証券		
	電話加入権		
	敷金		
	長期前払費用		
固定資産合計			1,358,339,985
資産合計			2,526,258,833
（流動負債）			
	未払金	予防医学振興事業未払金	70,822,611
		音楽文化振興事業未払金	51,422,608
			19,400,003
	未払費用	予防医学振興事業未払費用	9,493,917
		音楽文化振興事業未払費用	6,719,110
			2,774,807
	預り金	予防医学振興事業未払金	9,621,414
		音楽文化振興事業未払金	2,952,914
			6,668,500
	前受金	音楽文化振興事業前受金	37,987,700
		式典等貸館事業前受金	36,720,700
			1,267,000
	賞与引当金	予防医学振興事業賞与引当金	44,317,192
		音楽文化振興事業賞与引当金	34,196,674
			10,120,518
			120,000
	未払法人税等		17,201,300
	未払消費税等		
流動負債合計			189,564,134
（固定負債）			
	退職給付引当金	予防医学振興事業退職給付引当金	233,292,502
		音楽文化振興事業退職給付引当金	170,110,502
			63,182,000
			233,292,502
			422,856,636
			2,103,402,197
固定負債合計			233,292,502
負債合計			422,856,636
正味財産			2,103,402,197

監 査 報 告

2020年 5月25日

一般財団法人住友生命福祉文化財団

理事長 野呂 幸雄 殿

監事 上野 博明 ㊞

監事 田中 英行 ㊞

私たち監事は、2019年4月1日から2020年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2. 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

（3）公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上